行政評価シート【重点戦略】

重点戦略 2 - (3)

経済環境の変化に適応する

基本的な方向性

誰もが創業などの新しいことにチャレンジする機運を醸成するとともに、実現に向けて支援します。また、中小企業の課題の解決をしつつ、円滑な事業の拡大や継承などを促進します。

KPI（重要業績評価指標）の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画策定時	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2027年度
創業支援件数【累計】	886件	1,295件				1,786件
中小企業の相談受付件数 ¹ 【累計】	2,831件	10,406件				13,681件

1 関係支援団体を含めた相談受付件数のこと。

戦略推進のための主な取組の「成果」

- ・創業支援等事業計画に基づき、関係機関と連携して起業家育成のためのセミナーの開催、起業に関する情報提供や事業計画の作成支援を行うとともに、創業や副業に関する相談会の開催及び専門家を派遣することで、市内での創業を支援しました。また、個別相談会を開催することで、市内事業者の事業承継を支援しました。
- ・市内事業者に対して、デジタル技術の活用に向けた専門家派遣や設備導入の助成を実施しました。また、スマートフォンと二次元バーコードを活用し、電子マネー類似機能兼行政ポイント「スターライトマネー」を実施するとともに、加盟店からの決済手数料を一部活用しながら、社会課題解決のための関係資金を積み立てました。
- ・事業者の様々な経営課題の解決に向けて、専門家を派遣するとともに、経営相談会、関係機関等と連携したセミナーを開催したほか、制度融資を実施しました。また、平塚商工会議所による商工だよりの発行、景気動向調査等や、講演会の開催のほか、金融支援事務等に対して補助しました。

戦略を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・ 創業前後の様々な課題に応じた支援が必要です。
関係機関との連携を強化し、創業者の掘り起こしや副業の支援を実施するとともに、ライフステージや多様な価値観に合わせたプログラムやネットワークを構築することで、起業への気運の醸成を図ります。
- ・ 原材料費やエネルギー価格の高騰等による物価上昇など経営課題が変化しており、経済状況や事業者のニーズに即した支援が必要です。
デジタル化、省人化などの経営課題に応じた支援を継続しつつ、円滑な事業の拡大や承継などを促進します。

戦略推進のための「【取組】（事業）」

- 【円滑な創業・事業継承の促進】(起業家支援事業、中小企業金融支援事業、中小企業経営支援事業)
- 【産業の活性化に向けたデジタル技術の活用】(中小企業経営支援事業、地域共創ポイント事業)
- 【中小企業の相談対応や、課題解決の支援】(中小企業経営支援事業、中小企業金融支援事業、商工業者支援団体活動補助事業)